

eBASE株式会社

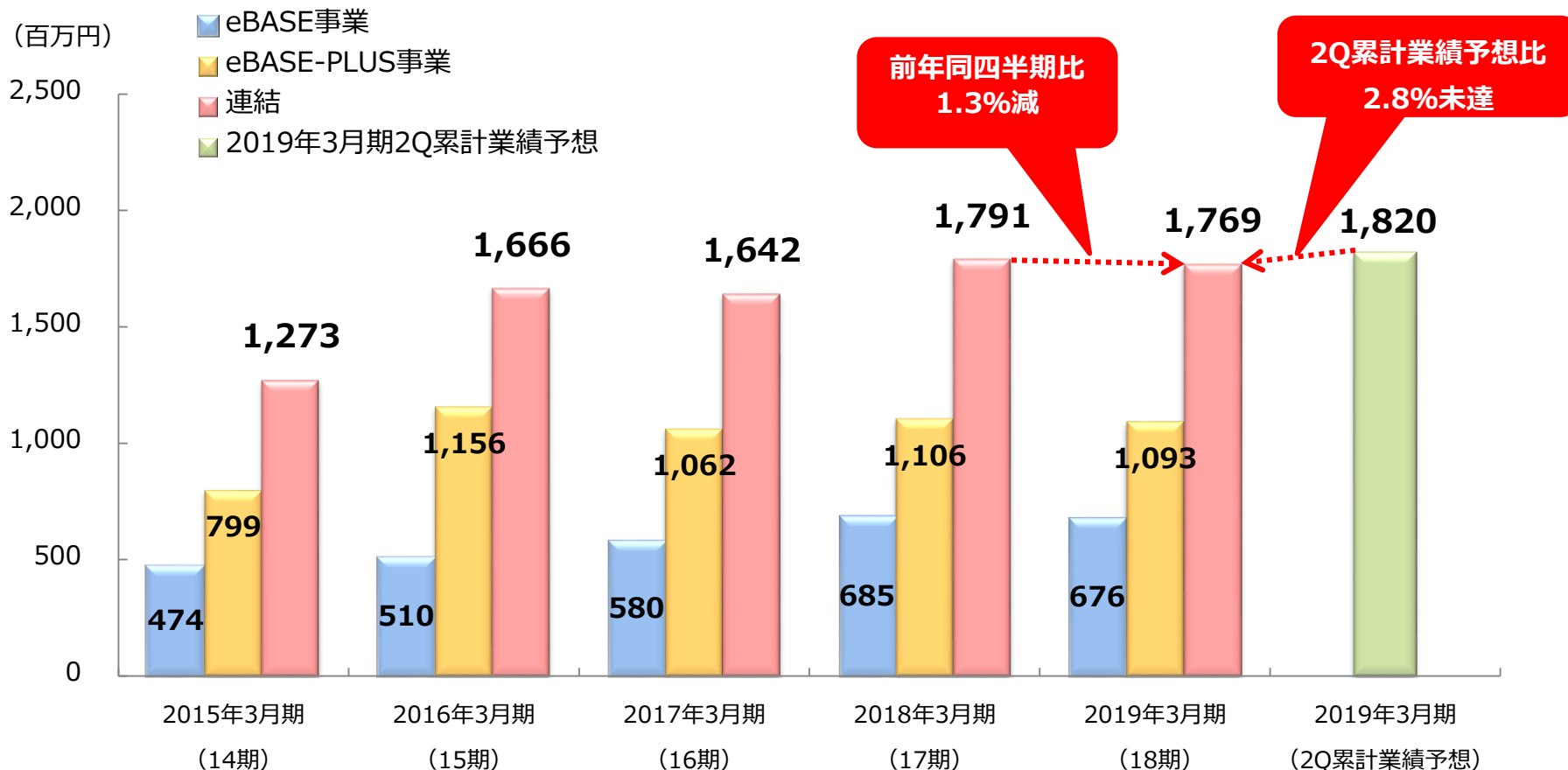
2019年3月期

第2四半期決算と事業報告

目次

■ 第2四半期決算連結売上高の推移	・ ・ ・ ・ ・ P3
■ 第2四半期決算連結経常利益の推移	・ ・ ・ ・ ・ P4
■ 第2四半期決算連結業績・連結貸借対照表の推移	・ ・ ・ ・ ・ P5
■ eBASEグループ事業概況	・ ・ ・ ・ ・ P6～10
■ 第2四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業	・ ・ ・ ・ ・ P11
・ 種類別販売実績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P12
・ 業界別売上実績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P13
・ 食品業界 今期施策とその進捗	・ ・ ・ ・ ・ P14
・ 日雑業界 今期施策とその総括	・ ・ ・ ・ ・ P15
・ 住宅業界 今期施策とその総括	・ ・ ・ ・ ・ P16
■ 第2四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS事業	・ ・ ・ ・ ・ P17
■ 通期（2019年3月期）の連結業績予想	・ ・ ・ ・ ・ P18
■ 資本状況（ROE及びROA等）の推移	・ ・ ・ ・ ・ P19

第2四半期決算 連結売上高の推移

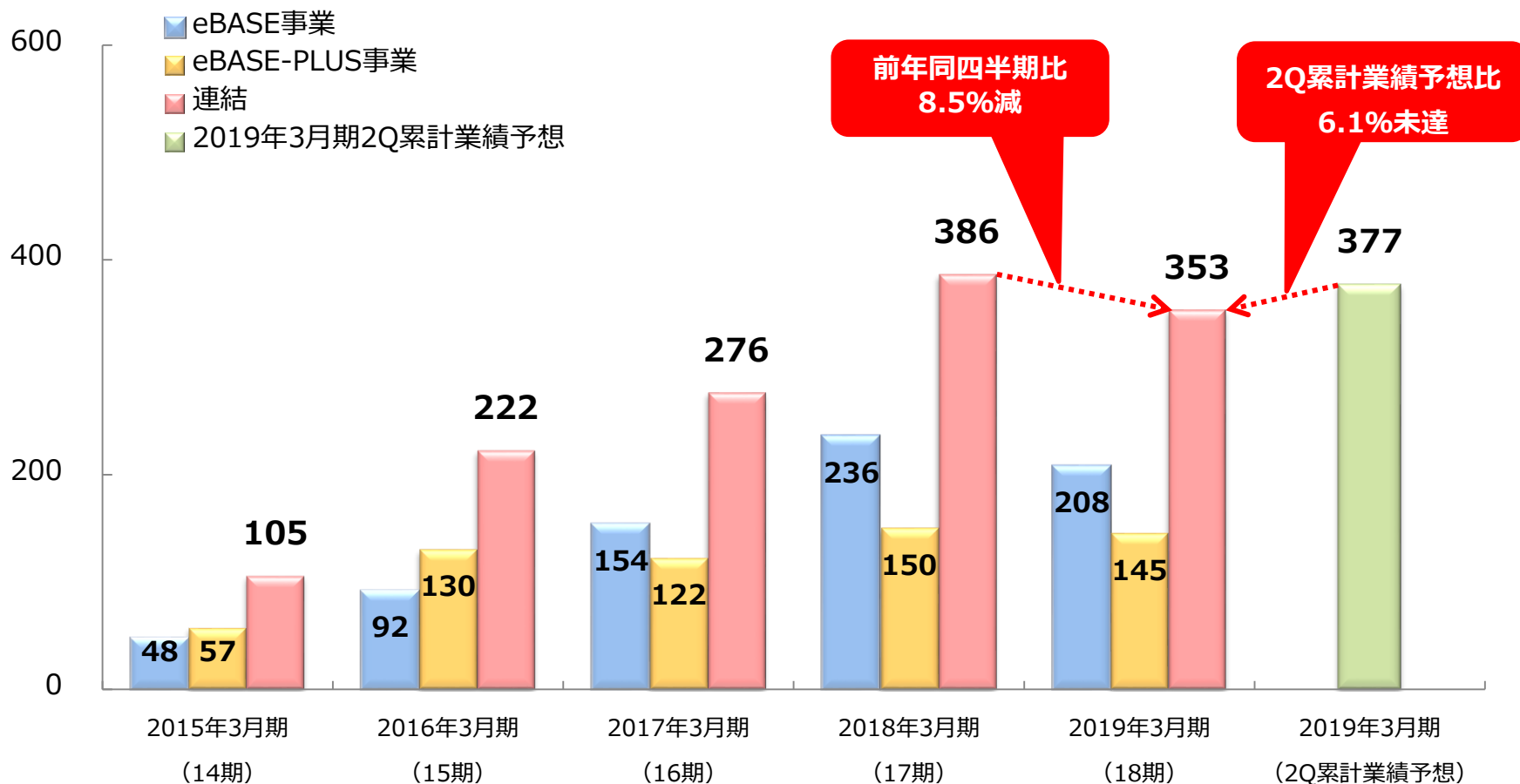


注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

注2) 2015年3月期（第14期）第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

第2四半期決算 連結経常利益の推移

(百万円)



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

注2) 2015年3月期（第14期）第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

第2四半期連結業績の推移・連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年3月期 (第14期)	2016年3月期 (第15期)	2017年3月期 (第16期)	2018年3月期 (第17期)	2019年3月期 (第18期)
売 上 高	1,273	1,666	1,642	1,791	1,769
(eBASE事業)	(473)	(510)	(580)	(685)	(676)
(eBASE-PLUS事業)	(799)	(1,156)	(1,063)	(1,108)	(1,099)
(セグメント間取引)	(△0)	(△0)	(△1)	(△2)	(△6)
営業利益	101	225	281	373	337
経常利益	105	222	276	386	353
(eBASE事業)	(48)	(92)	(154)	(236)	(208)
(eBASE-PLUS事業)	(57)	(130)	(122)	(150)	(146)
(セグメント間取引)	(△0)	(△0)	(-)	(-)	(△0)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	66	141	184	259	242

	前期 (2018年3月末)	当期 (2018年9月末)	前期末比	
流動資産	2,591	2,550	△40	現金及び預金+137 受取手形及び売掛金△190
固定資産	1,353	1,363	10	
(有形+無形資産)	71	76	(4)	のれん△0
(その他)	(1,281)	(1,287)	(5)	投資有価証券+4
資産合計	3,944	3,914	△30	
流動負債	424	368	△55	未払法人税等△51
負債合計	424	368	△55	
株主資本合計	3,498	3,533	35	利益剰余金+6 (配当金支払△235) (親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+242)
新株予約権	21	12	△8	
純資産合計	3,520	3,545	24	
負債・純資産合計	3,944	3,914	△30	

eBASEグループ事業概要

当社グループは、eBASE事業とeBASE-PLUS事業で構成

eBASE事業

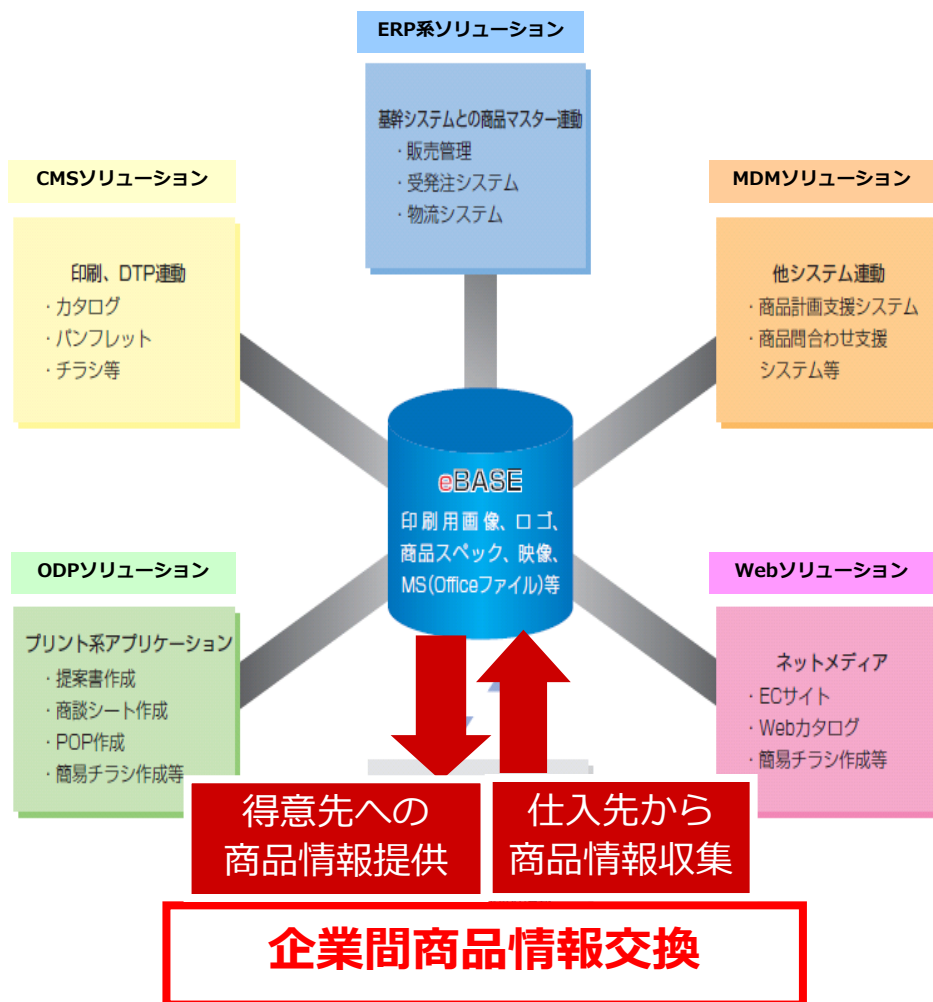
- ・ 様々な業界（食品、日雑、医薬、家電、住宅、工具業界、等）で、統合商品情報管理パッケージソフトeBASEを自社開発・販売。
- ・ オンプレミス型だけでなく、クラウドサービスも提供。
- ・ 業界別に、企業間商品情報交換の標準化を推進し、「業界別商品データプールサービス」を展開中。
- ・ 基幹系システムのマスターデータマネジメントニーズにも対応。

eBASE-PLUS事業

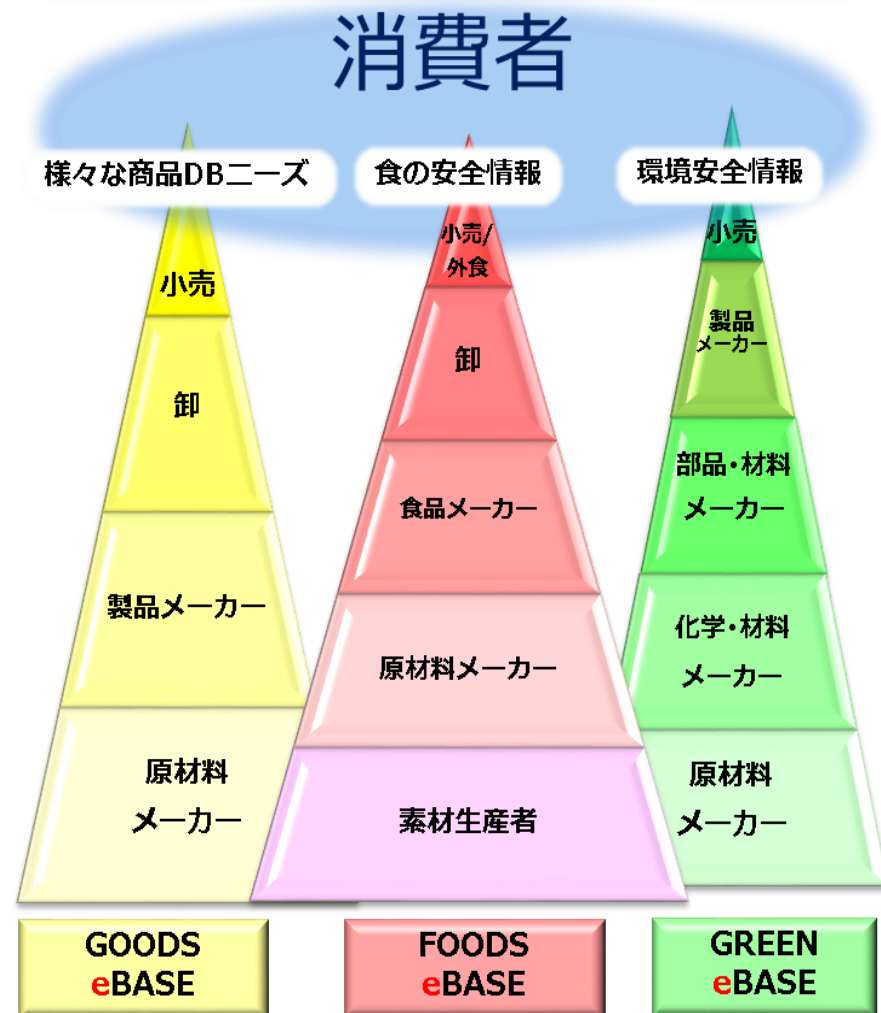
- ・ eBASE社や顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等のIT開発アウトソーシングビジネス。

eBASE事業概況

統合商品データベースeBASE概要



業界別の商品情報交換サービス概要



新しいeBASE事業概況(コンテンツビジネス)

eBASE 業界別 商品データベースサービス 概要

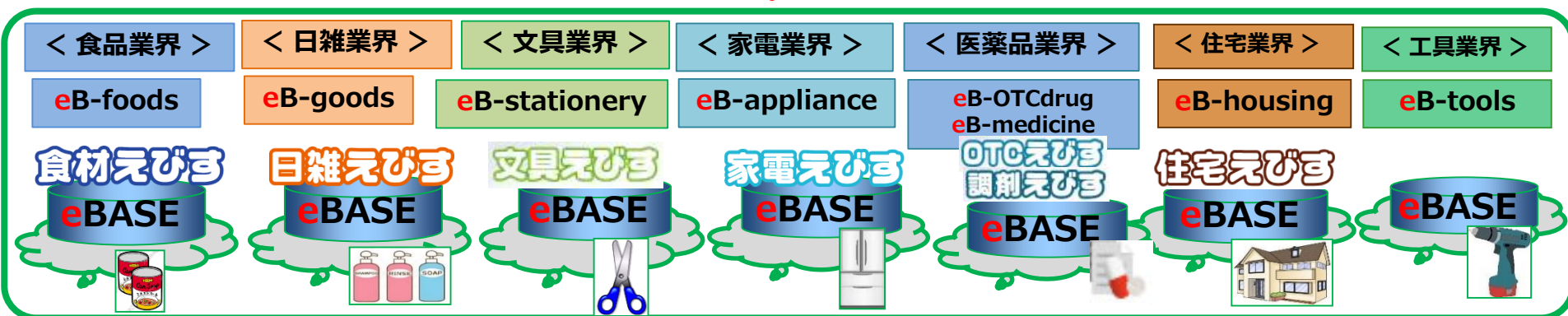
商品詳細情報の提供を効率化！

商品情報は随時更新中!!

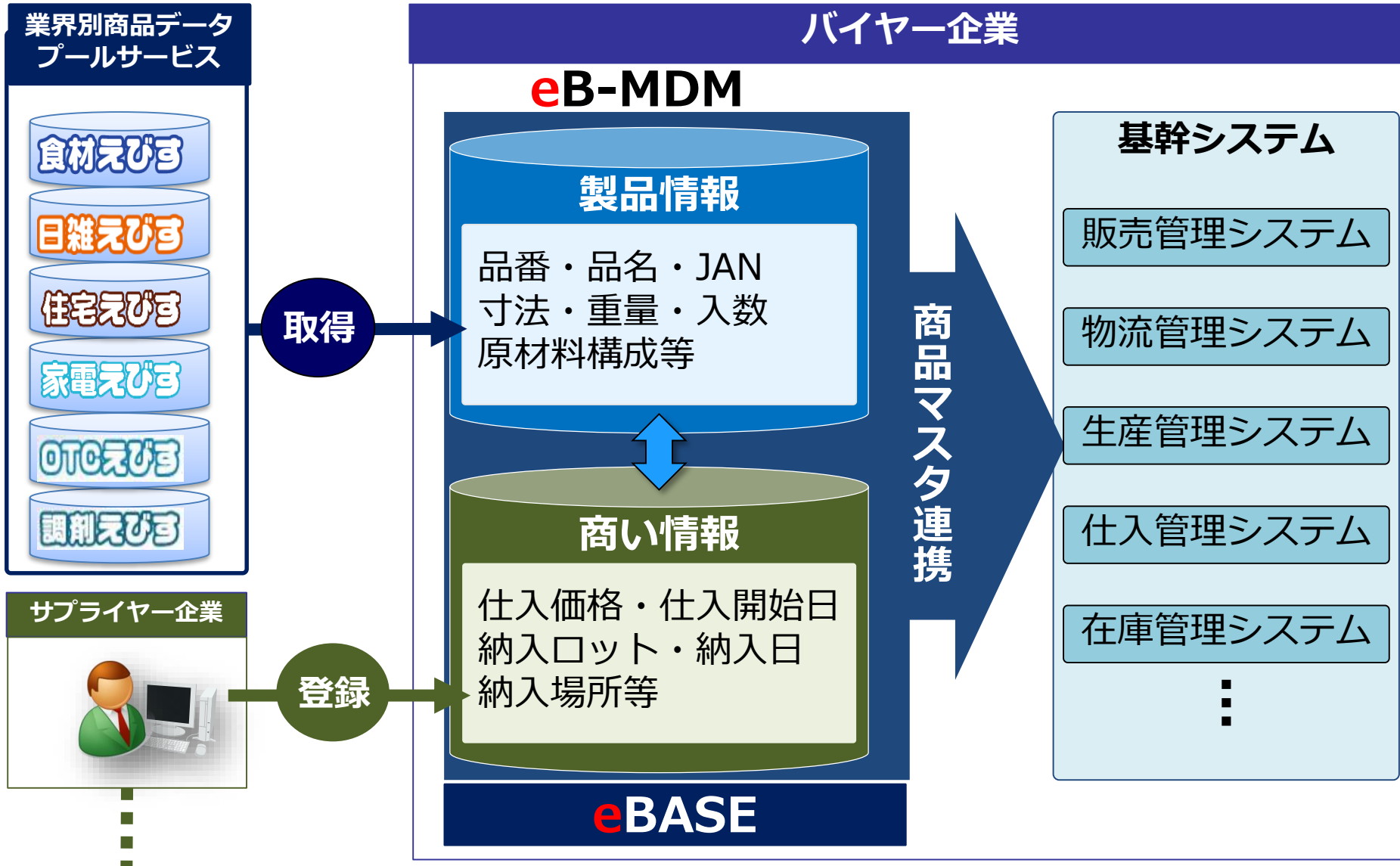
商品詳細情報の収集を効率化！



他業界へ展開



業界別商品データプールサービスのMasterDataManagement活用



eBASE-PLUS事業概況

eBASE-PLUS事業 I T開発アウトソーシングサービス

I Tシステムソリューション



I Tスペシャリストによる高品質で高付加価値な I Tサービスシステム、プラットフォーム、データベースなど、幅広い技術領域における構築・開発をサポートし、高品質で高付加価値な I Tサービスを可能にします。

インフラ構築／業務アプリケーション開発／制御・組込み開発

I Tマネージメント



ミッションクリティカルなシステムの安定稼働をサポート
専任スタッフによる万全の体制により、24時間・365日、メインフレーム、UNIX、Linux、PCサーバー等の運用管理を行います。
また、日々の運用管理業務における、お客様の負荷を軽減する各種アウトソーシングサービスも提供しております。

メインフレーム・各種Serverの運用管理／アウトソーシング支援

I Tサポート・サービス

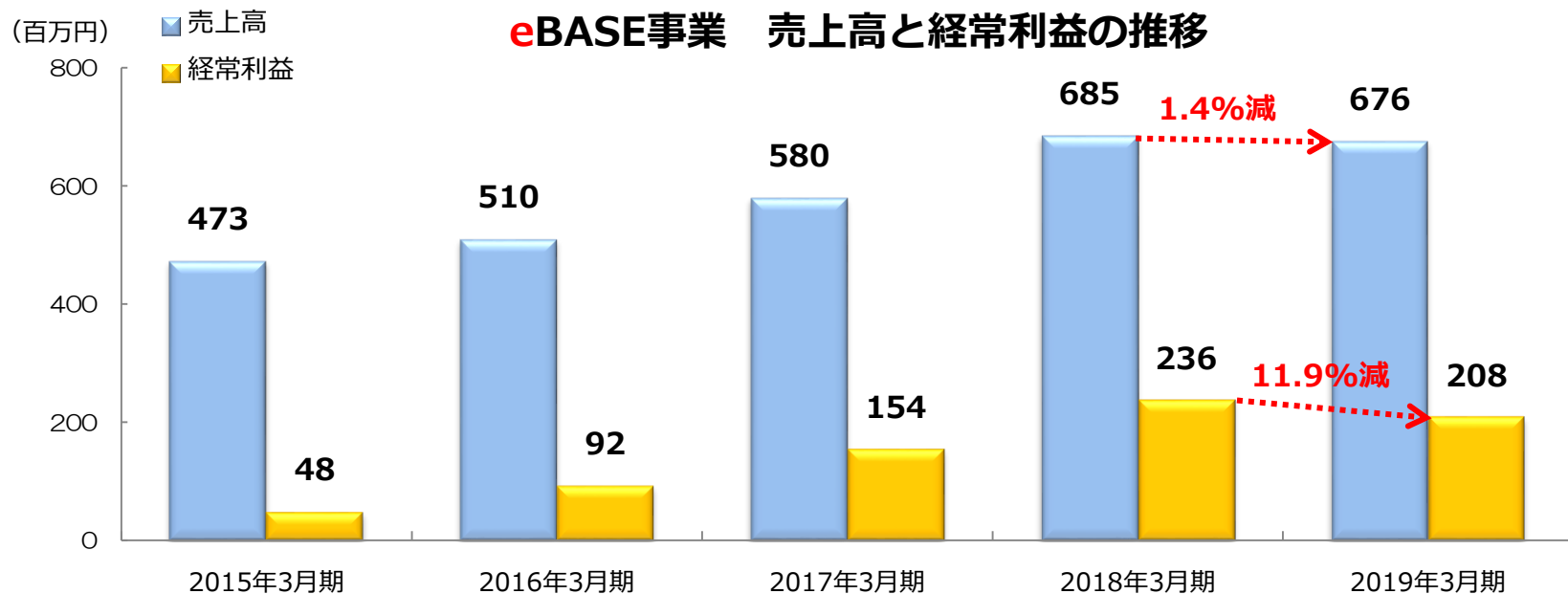


“技術力”と“サービス力”を備えたエキスパートによる安心サポート
当社のテクニカルサポートは技術力だけでなく、人間性も合わせた調和がサービスの原点と考えております。「時代の変化に対応できる社員の育成」に力を注ぎ、お客様に心から喜んで頂くために最適なサポートサービスをご提供致します。

ネットワーク・セキュリティシステム構築／統合運用管理／システム導入・展開／ヘルプデスク

第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

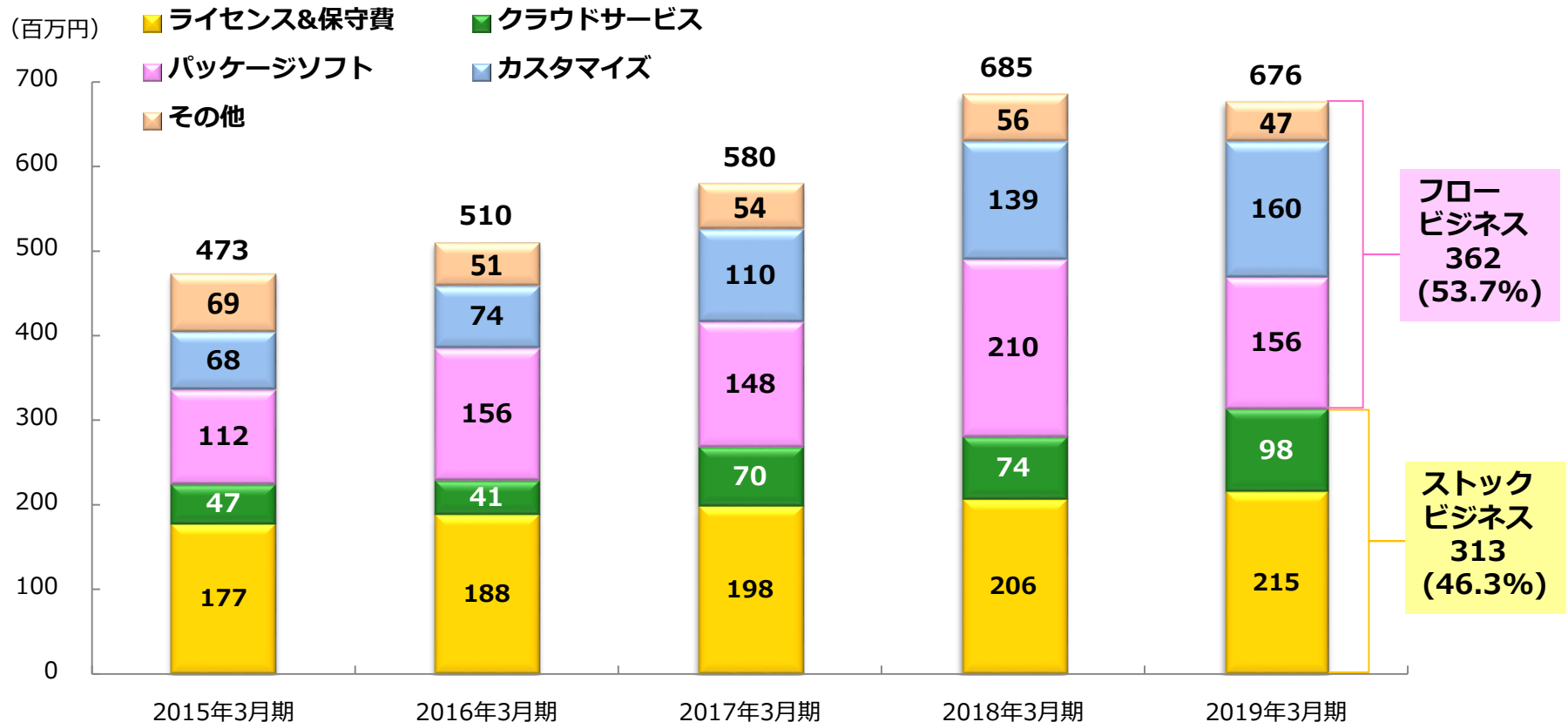


総括

- ・ 大型継続案件の受注に加え、食品小売、外食企業及び食品メーカー等への深耕営業等に注力。
- ・ 「食材えびす」の登録件数の増加によるNB商品のMDM需要が増加。
- ・ 統合商品情報管理システムの引き合いが増加。
- ・ 日雑/住宅業界は、昨年度からの追加開発案件が一時的に収束。
- ・ 業界別商品データプールサービスと関連システムの開発に注力。
- ・ 数件の大型案件が後半期以降へ売上計上の影響で売上減少。

第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

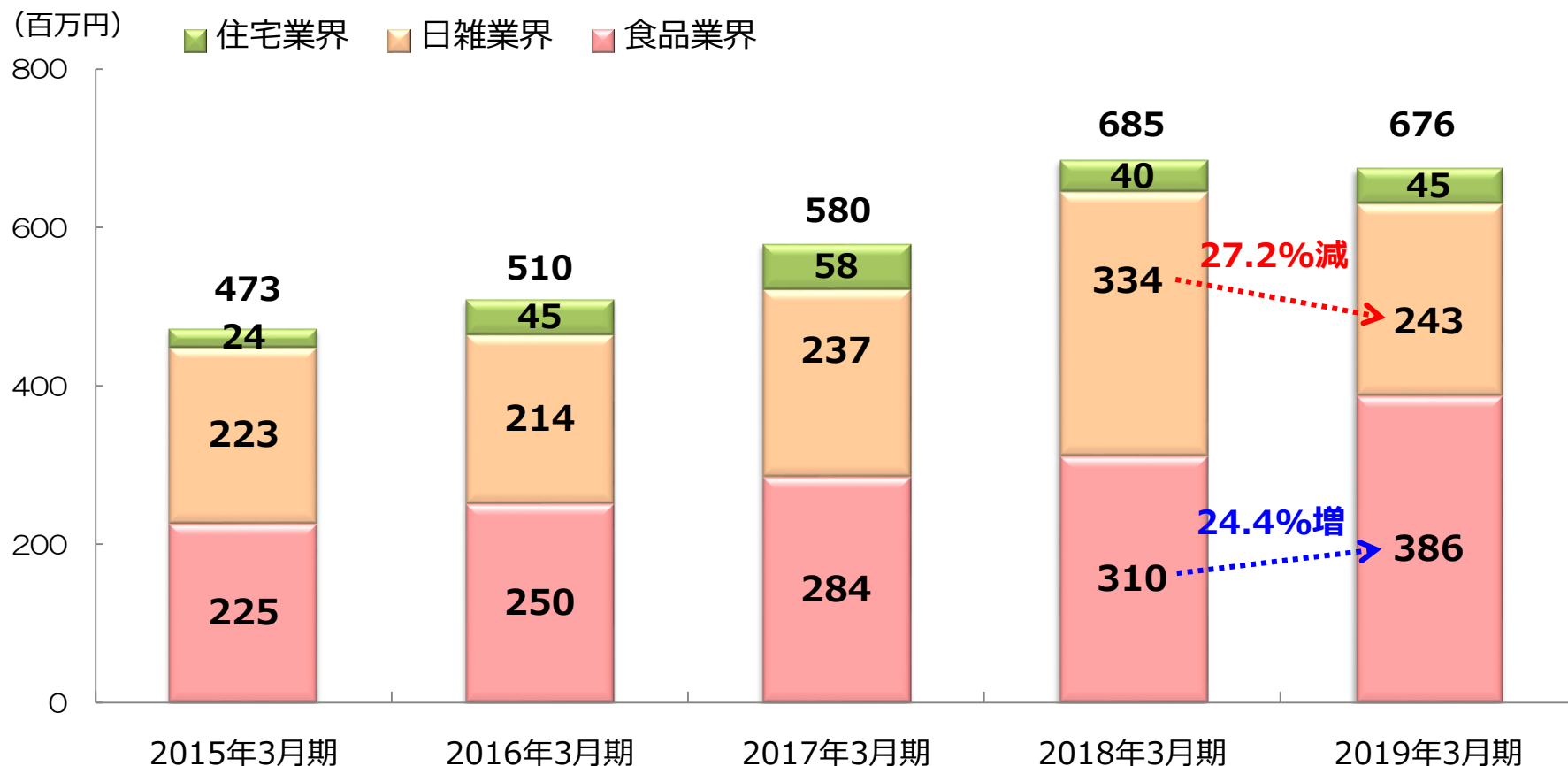
種類別販売実績の推移



注1) 種類別販売実績について、2016年3月期より一部クラウドサービスの計上方法を変更しております。また、変更に伴い2015年3月期以前の計上方法も変更したと仮定して算定しております。

第2四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE事業

業界別売上実績の推移



第2四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE事業

食品業界 今期施策とその進捗

2019年3月期 施策

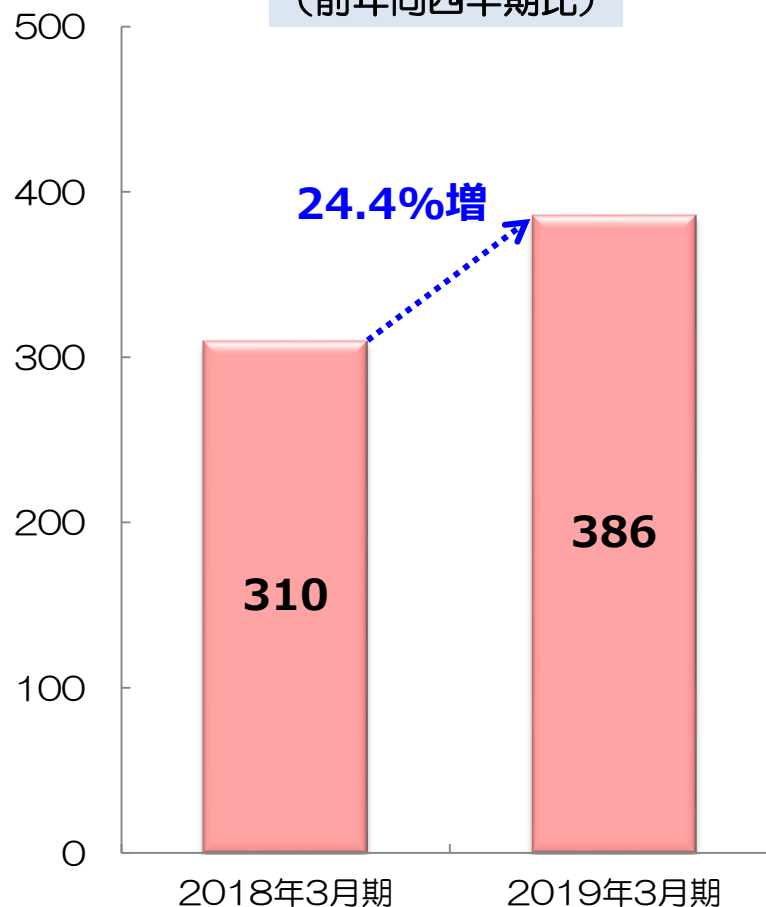
- ・ 現事業モデルの継続推進。
- ・ 無償「eBASEjr.」への有用機能の低額提供。
- ・ 商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化の継続推進と販促強化。
- ・ 食品小売企業の非食品系えびす運用の推進。

その進捗

- ・ 売上実績（2Q累計）：386百万円
- ・ 「食材えびす」の機能強化及び販促活動を推進。
- ・ 「食材えびす」の登録件数の増加によるNB商品のMDM需要が増加。
- ・ 大手流通小売企業で日雑商品情報データプールサービス「日雑えびす」の追加受注が決定。
- ・ 大型継続案件の受注に加え、食品小売、外食企業及び食品メーカー等への新規・深耕営業に努めた。

(百万円)

食品業界 売上実績
(前年同四半期比)



第2四半期決算セグメント毎の概況/ **e**BASE事業

日雑業界 今期施策とその進捗

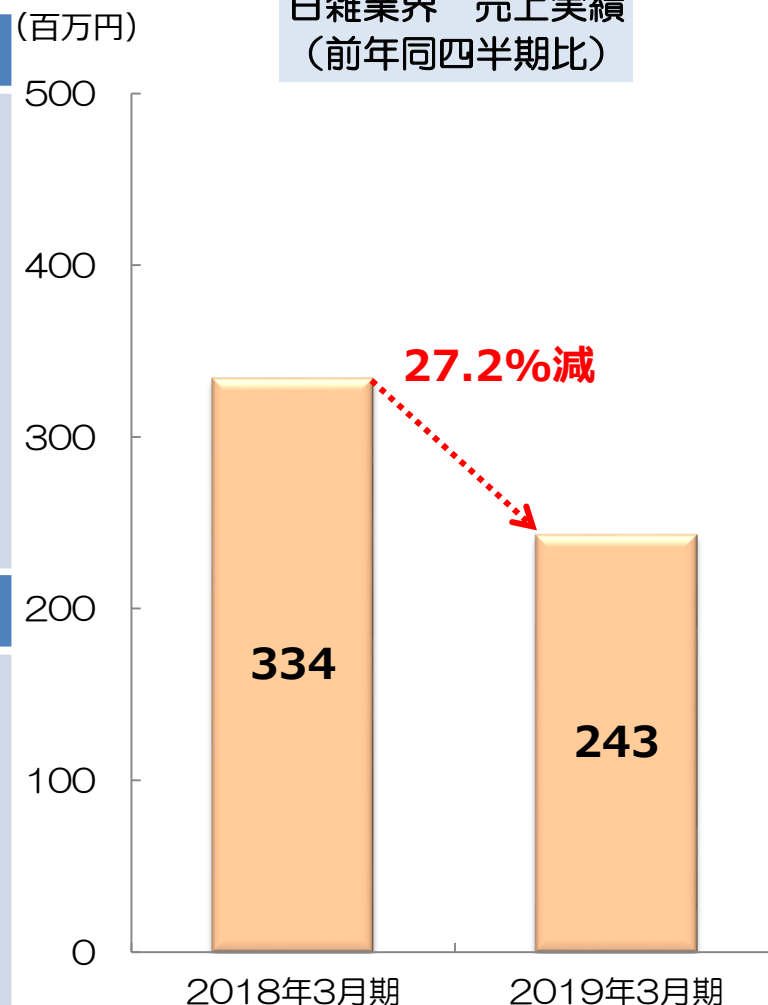
2019年3月期 施策

- ・日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）における業界毎で商品情報交換環境の全体最適化を推進。
- ・商品データプールサービス「日雑えびす」、「食材えびす」、「調剤えびす」、「OTCえびす」の販促を推進。
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進。

その進捗

- ・売上実績（2Q累計）：243百万円
- ・「日雑えびす」の販促に注力。
- ・ドラッグストア向けに**e**BASE活用提案を推進し、複数社で受注が確定したが、想定よりも受注が遅れた。
- ・数件の大型案件が後半期以降へ売上計上となった影響で売上減少。

日雑業界 売上実績
(前年同四半期比)



第2四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE事業

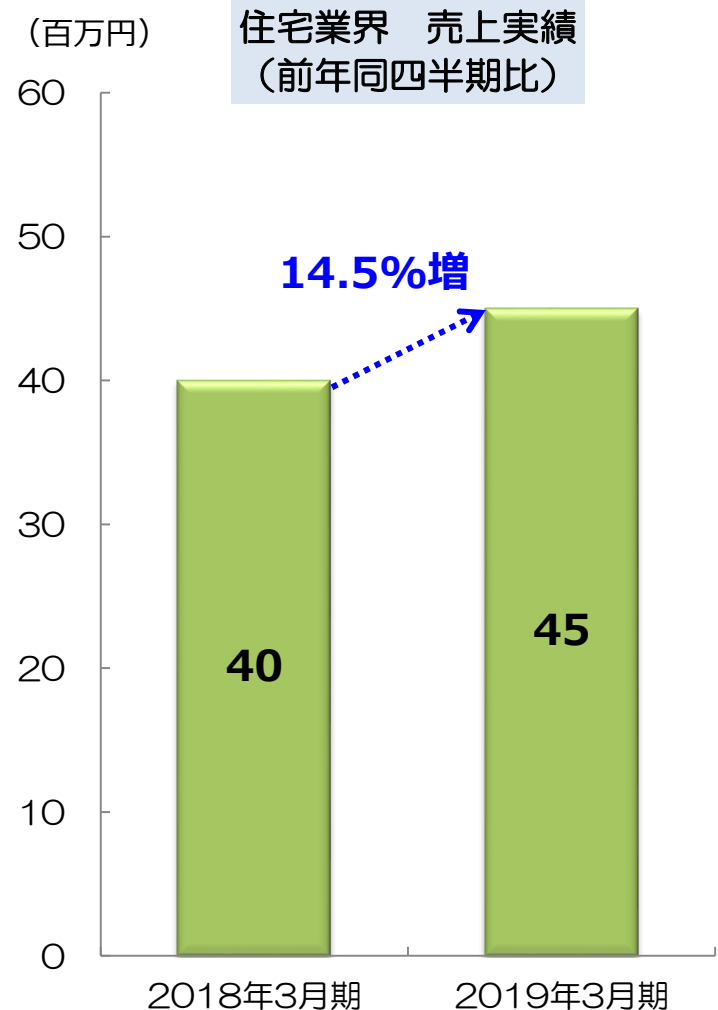
住宅業界 今期施策とその進捗

2019年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進。
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進。

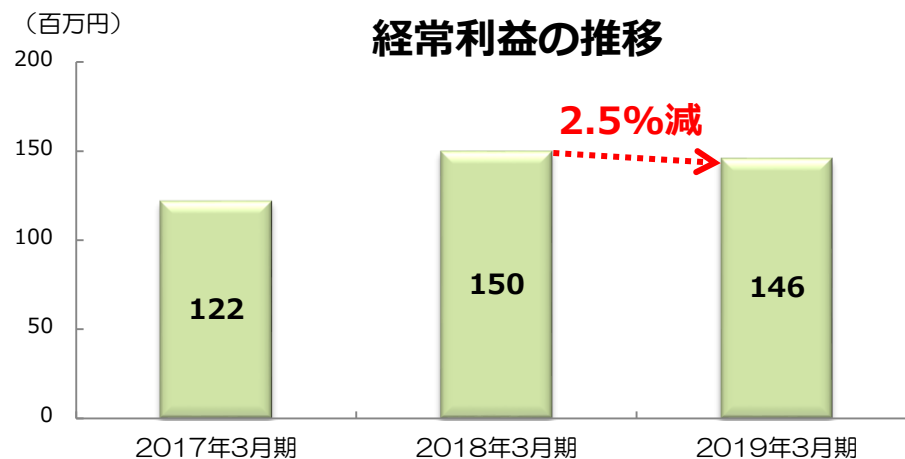
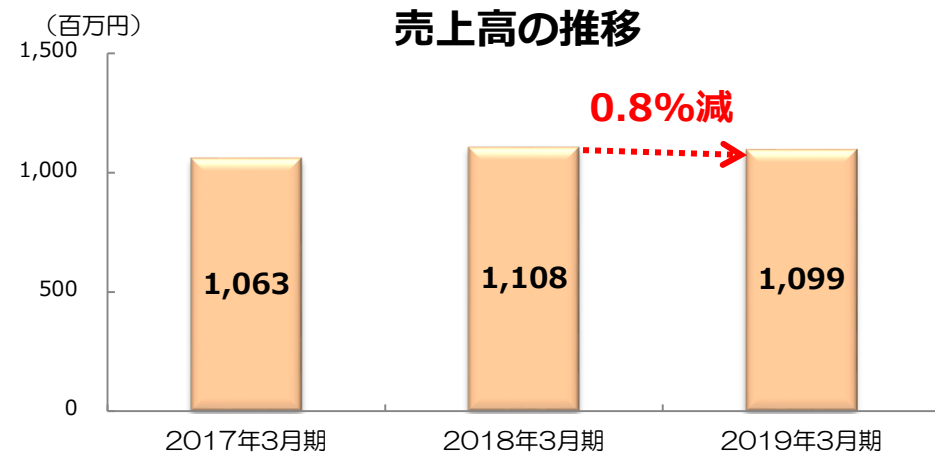
その進捗

- ・売上実績（2Q累計）：45百万円
- ・「住宅えびす」を開発リリース。
- ・昨年度からの追加開発案件が一時的に収束。
- ・eBASE活用提案に努め、統合商品情報管理システムの機能強化及び販促により前年対比で増加。
- ・大手ハウスメーカーにて統合商品情報管理システムの本番稼働に伴い、仕入先からの情報登録が開始。



第2四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）



注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

総括

2019年3月期 施策

- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持。
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討。
- ・ eBASEビジネスとの連携。
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成。
- ・ 優良M&A案件の推進。

その進捗

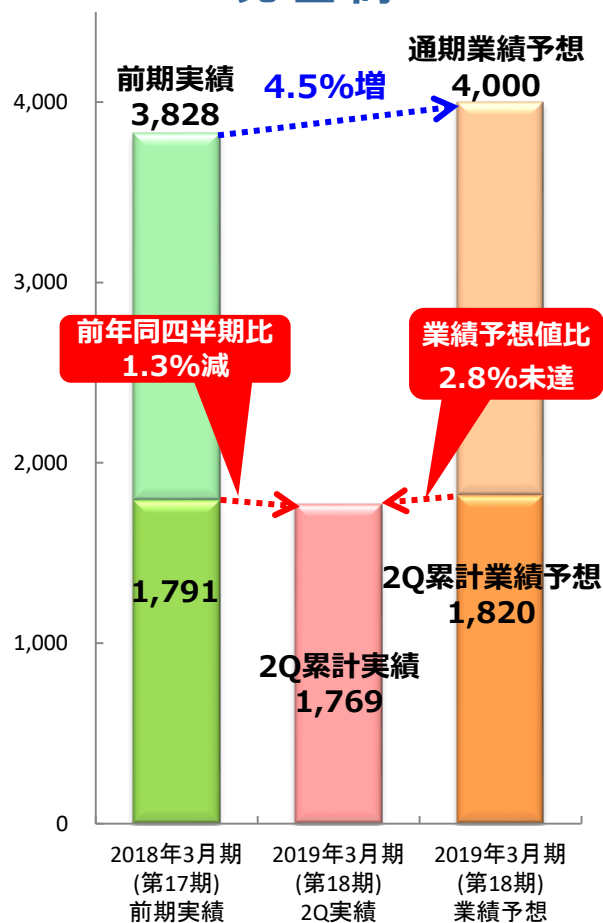
- ・ 売上実績（2Q累計）：1,099百万円
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力。
- ・ 即戦力となる中途採用を推進し人材の確保・育成に努める。
- ・ 採用氷河期の影響により引き合いに見合った社員確保が困難な傾向。
- ・ 全体稼働工数は退職により減少。
- ・ 前年比で新卒人員採用増加に伴うコスト増、運用オペレータからシステムエンジニア登用時における一過性の売上ロスにより売上減少。

通期（2019年3月期）の連結業績予想

- 2019年3月期（通期業績予想数）
- 2019年3月期（2Q累計業績予想数）
- 2019年3月期（2Q累計実績）
- 2018年3月期（通期実績）
- 2018年3月期（2Q累計実績）

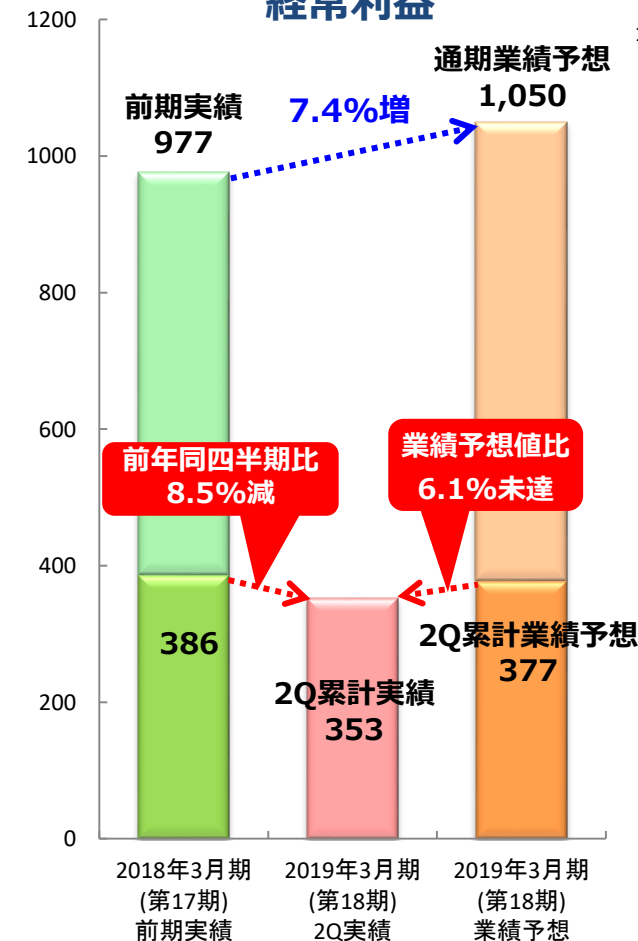
（百万円）

売上高



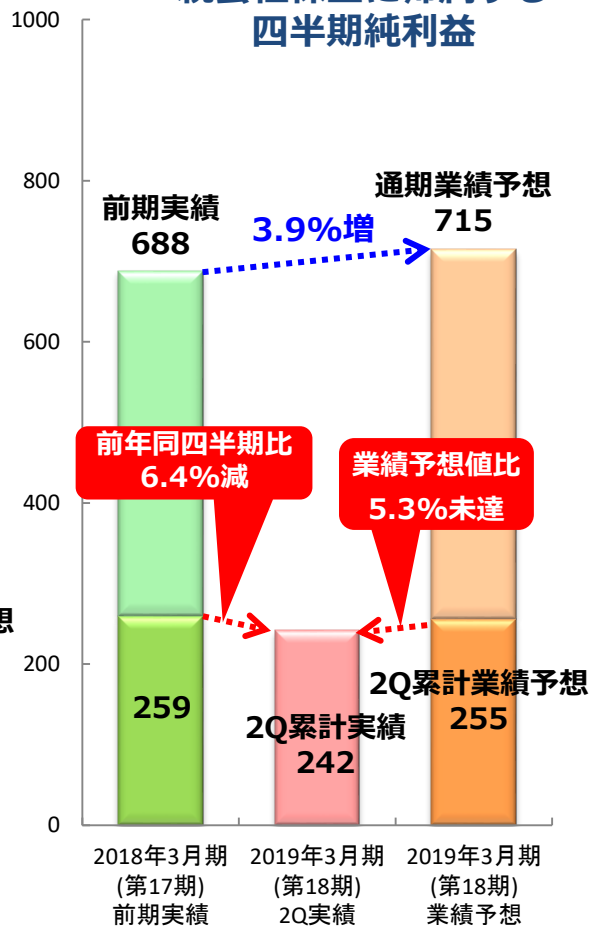
（百万円）

経常利益

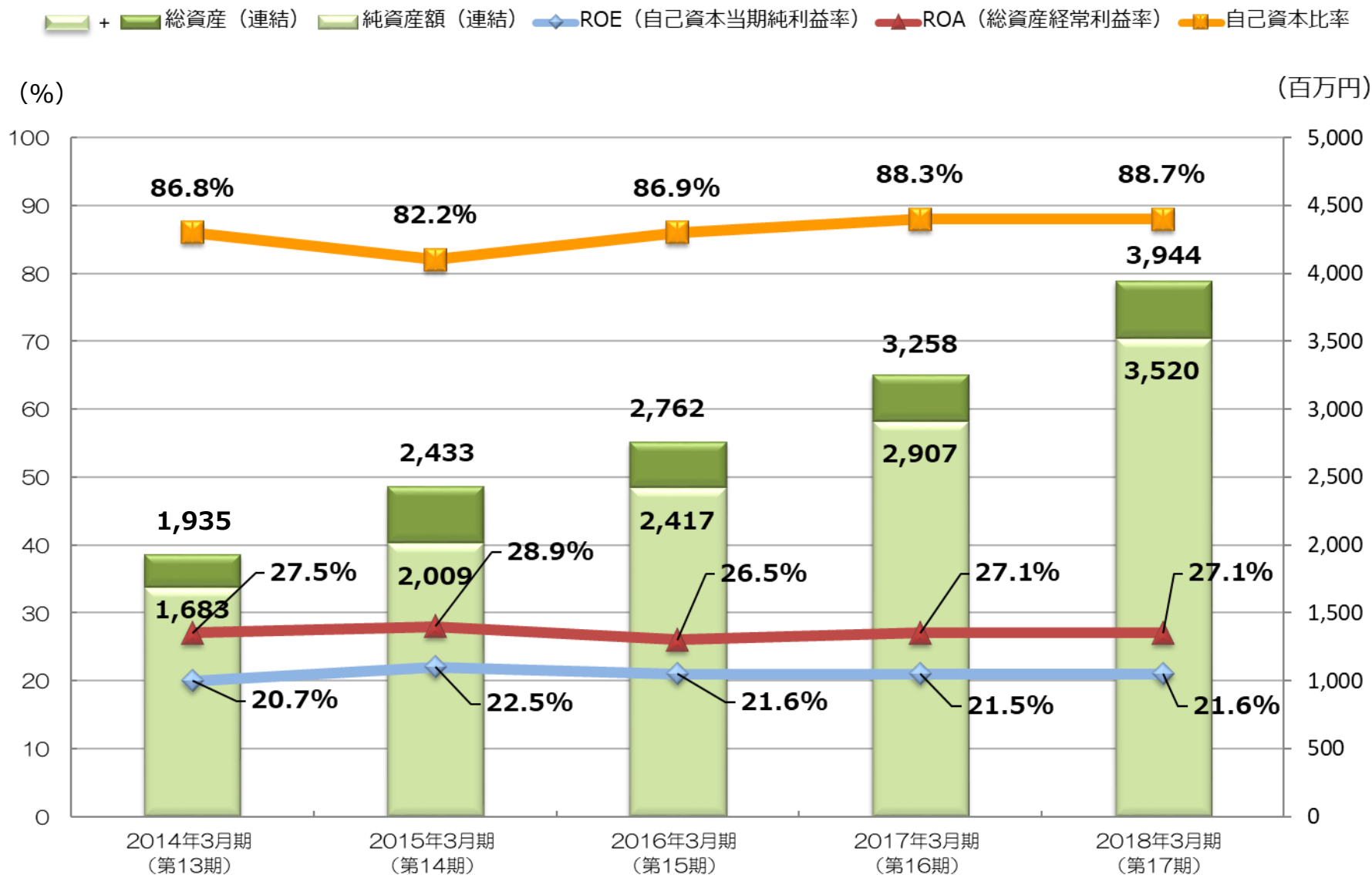


（百万円）

親会社株主に帰属する 四半期純利益



資本状況(ROE及びROA等)の推移



本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp